『建設物価 建築費指数®』

2024年 10 月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会(本部:東京都中央区、理事長:白圡昌則)では、同会ホームページにて毎月公表している 『建設物価 建築費指数』について、2024年10月分の指数データを2024年11月8日13:00より公表いたします。

建築費指数は、**建物を建築する際の工事価格の変動**を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の 時点間や地域間での比較や、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能です。

■2024 年 10 月分の指数動向(工事原価指数 東京)■

▶集合住宅(RC 造)の指数は、133.9(暫定値)と前月比で 0.1%減、前年同月比 6.2%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与:電線・ケーブル(材工)[+0.04]の1細目

(対純工事費指数) マイナス寄与:鉄筋(材)[-0.13]、型枠(材工)[-0.01]、上記以外の建築細目[-0.01]などの5細目

▶事務所(S造)の指数は、134.5(暫定値)と前月比で 0.2%減、前年同月比 5.2%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与:電線・ケーブル(材工)[+0.06]の1細目

(対純工事費指数) マイナス寄与:鋼材(材)[-0.25]、鉄筋(材)[-0.03]、上記以外の建築細目[-0.01]などの 5 細目

▶工場(S造)の指数は、133.9(暫定値)と前月比で0.2%減、前年同月比5.0%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与:電線·ケーブル(材工)[+0.08]の1細目

(対純工事費指数) マイナス寄与:鋼材(材)[-0.28]、鉄筋(材)[-0.05]、型枠(材工)[-0.00]などの5細目

▶住宅(W造)の指数は、139.5(暫定値)と前月比で 0.0%減、前年同月比 4.9%増となった。

【前月からの変動要因】 プラス寄与:電線・ケーブル(材工)[+0.02]の1細目

(対純工事費指数) マイナス寄与:木工(材工)[-0.02]、鉄筋(材)[-0.01]、上記以外の建築細目[-0.01]などの4細目

■工事原価指数グラフ■

集合住宅RC造【主要5都市】 2015年=100 135.0 125.0 120.0 125.0 120.0 125.0 120.0 1

■工事原価指数値■

集合住宅 RC 造【主要 5 都市】				※2015年=100	
年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
2023年10月	126.1	125.0	128.8	129.8	128.4
11月	126.4	125.6	129.2	130.2	128.7
12月	127.7	126.6	130.5	131.5	129.5
2024年1月	128.0	126.7	130.6	131.6	129.6
2月	128.1	126.7	130.7	131.7	129.7
3月	129.9	128.6	133.4	133.2	131.4
4月	129.9	129.7	133.5	133.3	132.0
5月	130.7	130.0	133.8	133.7	132.3
6月	131.7	130.9	135.1	134.2	133.2
7月	132.3	131.5	135.7	134.7	133.8
8月	132.4	131.6	135.8	134.9	133.8
9月	P134.0	P133.7	P136.8	P136.0	P134.8
10月	P133.9	P133.7	P136.6	P136.1	P134.7

■指数変動に寄与した主な細目■ 詳細な市況は https://www.kensetu-bukka.or.jp/ をご覧ください。

プラス寄与

世界的な銅相場の急騰に起因するメーカーの製品価格の引き上げによる電線・ケーブル類の市場価格の上伸が指数動向のプラスに寄与した。

マイナス寄

原材料であるスクラップ価格の下落や新築需要の低迷を背景とした鉄筋(棒鋼)価格の下落、需要低迷に起因する市中在庫の増加を背景に販売店間の安値競争の激化による合板価格の下落などが指数動向のマイナスに寄与した。



【本件に関するお問合せ先】 ※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当:伊沢 Tel:03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町 11 番 8 号 フジスタービル日本橋 E-mail:econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ ➡ https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu kentiku/